

# 行政視察の実施報告

## 建設経済厚生常任委員会

**日程** 平成30年11月7日(水)～8日(木)

**視察先** ・社会福祉法人<sup>ゆうげんかい</sup>邑元会しびらき  
(埼玉県さいたま市)  
・埼玉県春日部市

◇社会福祉法人<sup>ゆうげんかい</sup>邑元会しびらき

**視察項目** 障がい者の就労支援の取り組みについて



**内容** 地域との共存をめざした就労支援として地元商店街の名前「新開」をそのまま事業所名「しびらき」とし、地域住民との共存を打ち出し商店街の空き店舗に「ベーカリーカフェしびらき」「ひとつながるカフェ」をオープンしている。また、遊休農地を利用した「しびらきファーム」でのいちごやしいたけのハウス栽培、農園での野菜栽培等を行い、上記店舗で販売している。いちごハウスでは、いちご狩りやイベント等により地域との交流が行われている。利用者は事業所に専属ではなく選択して働くことができる。

**所感** 屋内で作業をする就労支援施設と違い、お客様と接する機会も多く、入所施設とショップと

の往復の機会に市民の方とのふれあいがある。まさに障がい者と住民が共存し当たり前のように交流する、理想的な福祉のまちづくりが行われている。

◇埼玉県春日部市

**視察項目** 春日部市シティセールス戦略プランについて

**内容** 市民が「わたしたちのまち」と誇りを持ち、まちへの愛着を育むことを目指す(シビックプライドの醸成)。そして、まちの良さが中から外に広がっていくことで、市外の人からも「選ばれるまち」になることを目指している。具体的事業などを示す行動計画は、市民・関係団体と市とが意見交換を通じて策定。その後、第1次戦略プランを検証し、市内向けのPR活動については、課題が残る部分もあるが、事業を一つずつ丁寧に実施してきたことで一定の効果を上げている。今後は市外向けのPRを意識した戦略へと発展させる方向性のもと、第2次シティセールス戦略プランを策定している。

**所感** 加西市においても平成29年3月に「加西市シティプロモーションビジョン」を策定しているが、体制の確立として、春日部市も行っているシティセールスに賛同する市民・団体・企業によるサポーター制度は早急に取り組むべきである。

## 総務常任委員会

**日程** 平成30年11月12日(月)

**視察先** 兵庫県神崎郡神河町

**視察項目** 観光施策について

**内容**

スキー場建設を発想するに至った経緯等

- ◎かんぼの宿を引き継いだ峰山高原ホテルリラクシアを指定管理者制度で経営しようとしたが、経営の行き詰まりから指定管理者が相次いで撤退。原因は冬場にお客さんがほとんど来ないこと。
- ◎閉館を考えたが、県立自然公園内にあるということで閉館も困難。そこで指定管理者を一般公募し、プロポーザルにより(株)マックアースを採用。(株)マックアースは冬営業対策としてスキー場建設を提案した。
- ◎担当者によりスキー人口の推移、気象条件等を調査分析した結果、スキー場事業については収益も見込め、波及効果も大きいと判断、町幹部での協議の結果、事業推進を決断した。
- ◎その後県知事との直接協議により県の全面支援を取り付け、事前環境調査予算の議会承認、兵庫県環境審議会の承認及び自然公園計画の変更承認を経て設計・工事・完成・スキー場オープンとなった。



スキー場を中心とした現在及び将来の観光戦略

- ◎スキー場は3コースある本格的な規模にこだわった。ターゲットは初心者、ファミリー層。またレンタル事業を充実させ、何も用意しなくてもスキーを楽しめる施設とした。
- ◎雪不足対策として人口降雪機を15台設置。
- ◎平成29年度のスキー場の集客は6万人以上と大成功だったが、それ以外の観光施設の入込者数が伸びてないのでスキー場利用者による他の観光施設及び商工業への波及効果が図れるよう誘導していく。
- ◎指定管理者からは次のステップとしてDMO(官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織)展開を提案されており、観光協会の組織強化も含めて、官民共同及び隣接市町との連携による大きな展開を図り、神河町だけでなく国道312号沿線市町全体の観光入込者数の増大を目指す。

**所感** 指定管理者から10年間、毎年3,000万円を施設使用料として町に支払うという契約をしている。10年経過後も指定管理者から町への入金を予定しているとのことで、観光事業のいい見本であると思う。また、官民の連携や近隣市町、関係する市町と連携して観光戦略を展開していくことは、これからの加西市にとって、重要なことであると考え